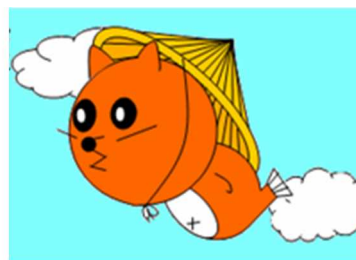


大津地検先輩職員からの
メッセージ／受験生の皆様へ
(採用2年目・1年目の職員)

広報キャラクター
びわぼん



R6.4採用
担当部署
立会業務
(男性)

私は兄が警察官を志望していたこともあり、私も司法に携わる職業に就きたいと考え検察事務官に興味を持ちました。

担当業務は、捜査公判部門で立会事務官として検察官の業務の補佐などをしていきます。ここでは検察官とともに事件の捜査を行ったり、裁判で使われる資料の作成などをするため、責任も重大ですが、その分やりがいを感じて日々業務に取り組んでいます。

また、大津地方検察庁では、立会事務官の年齢も近い方が多く、職員数も少ないため、困ったことがあっても相談しやすく働きやすい環境です。

そして、今まで法律の勉強をしたことがない方でも、入庁してから各種研修が充実しているので不安を感じることなく働くことができますと思います。

私は、説明会やパンフレットを見て検察庁について知り、事務職で公安職のような経験ができるところに惹かれ、検察事務官を志望しました。

大津地検のいいところは、小規模庁のため1人あたりの業務の量が幅広く、庁舎がきれいで、駅近、支部についても立地がいいことです！！

検察事務官として働く前は、法学部出身でないことなど不安要素がありましたが、わからないことは周りの上司に何でも聞ける雰囲気で、研修も充実しているので、問題なく勤務することができています。研修については、座学だけでなく現地に行ったりすることも少なくないです。

興味がある方は、業務説明会や官庁訪問に来てみてください！！



R7.4採用
担当部署
庶務係
(女性)



R7.4採用
担当部署
記録係
(男性)

私は説明会や官庁訪問を通じ、司法に関連する検察庁に興味を持ち、検察事務官の仕事に就きたいと思うようになりました。

大津地検を選んだ理由は、小規模な庁のため、個々が幅広い業務に関わることができるのでやりがいも大きく、成長に繋がりのやすい環境であると感じたので大津地検で働きたいと思いました。

また、入庁前は法律などの勉強をしたことがなかったため少し不安もありましたが、研修制度が充実しているため、法に関する知識や検察庁の業務を基礎から学ぶことができます。

わからないことがあっても周囲の上司、先輩方が丁寧に教えてくれますし、新しいことにも積極的に取り組むことができるので、働きやすい環境だと思います。